

令和7（2025）年度 校友会事業報告書

I 主要会議

○ 評議員会、理事会

第1回 令和7年 5月29日（木） ハイブリッド方式会議（理事会・評議員会）

第2回 令和7年10月28日（火） ハイブリッド方式会議（理事会・評議員会）

第3回 令和8年 3月10日（火） ハイブリット方式会議（理事会）

第3回 令和8年 3月26日（木） ハイブリット方式会議（評議員会）

○ 校友会総会

令和7年11月22日（土）横国Day開催日に併せ教育文化ホールにて開催した。

○ 専門委員会

・広報委員会はハイブリッド方式会議を1回開催

・総務・財務委員会はメール会議を1回開催した。

II 主要事業実績

1 入学時関連事業（新入生向け）

○ 新入生入会記念品

・令和7年度4月入学の新規入会者に、会員証交付時に入会記念として、校友会ロゴ入り特製バインダーを配布した。

○ 新入生歓迎会（学生幹事会）

・学生幹事会が主体となり10月30日（木）に第1食堂にて開催、軽食・ソフトドリンク・景品等を提供した。54名の学生と9名の教職員、各同窓会関係者が参加した。

※申込人数減により減額となった。

○ 新入生歓迎横浜港ナイトクルーズ（校友会・3同窓会合同イベント）

・校友会、3同窓会との共催により以下の日程で開催。約2時間の横浜港クルーズを通して、学部を越えたヨコの交流が行われた。パンとソフトドリンクを提供した。

・第1回：5月15日（木）に校友会、3同窓会との共催により開催。

・学生126名（家族含む）、各同窓会等関係者16名が参加した。

・第2回：10月22日（水）に校友会、3同窓会との共催により開催。

・学生133名（家族含む）、各同窓会等関係者19名が参加した。

○ 学事暦カレンダーの作成（配布用）

・令和7年度新入会員及び学部在学生会向けに学事暦カレンダーを作成（6100部）、学部在学会員には2月末に送付した。令和7年度新入会員には5月に送付した。

2 広報活動事業

○ 会報誌11号の発行（15,000部）

・会報誌第11号を作成し、卒業生、在校生、各同窓会、教職員、校友会関係者等に送付した。

・校友会の活動、部活動団体の紹介や活躍している卒業生の紹介などの発信を行った。

※配布先見直しによる発行部数現により減額となった。

3 学生活動の支援事業

3-1 学生活動事業支援

- **スポーツ支援プロジェクト**
 - ・前年度に顕著な成績を収め課外活動表彰を受けた 5 団体に対し副賞（活動奨励費）100,000 円をそれぞれに贈呈した。
少林寺拳法部、陸上競技部、横浜 AEROSPACE、オリエンテーリング部、硬式野球部
 - ・スポーツ関連施設整備費を支援した。
段違い平行棒等の更新、南地区運動場管理棟製氷機新設等スポーツ関連施設整備費
- **大学祭（常盤祭）支援**
 - ・大学祭実行委員会に対し大学祭（10 月 31 日、11 月 1、2 日開催）開催経費等 130, 000 円を支援した。
- **障がい学生修学等支援事業**
 - ・学会参加・研究発表及び調査研究活動に際し、有償の介助等が必要な障がい学生に支援した。

3-2 国際交流関係事業

- **海外留学促進事業支援**
 - ・10 月 15 日（水）開催の IELTS 対策講座開催経費を支援した。
- **異文化体験プログラム**
 - 以下のイベントについて開催経費を支援した。
 - ・水墨画教室：5 月 23 日（金）開催。
 - ・外国人のための歌舞伎鑑賞会：6 月 20 日（金）開催。
 - ・雅楽鑑賞会：10 月 23 日（金）開催。
 - ・東京 1 日バスツアー：10 月 31 日（金）開催。
 - ・風呂敷ワークショップ：12 月 5 日（金）開催。
- **日本語スピーチ大会支援**
 - ・12 月 9 日（火）開催の日本語スピーチ大会参加者への賞品、校友会賞（新設）、その他開催経費を支援した。
- **海外教育交流活動（YOKOHAMA-SXIP プログラム）支援事業**
 - ・YOKOHAMA-SXIP プログラムにおける派遣学生への学修支援、協定校から受入れの学生・教員との交流会、カルチャーツアー等の実施経費を支援した。

3-3 キャリア教育関係事業

- **マスコミ就職支援セミナー開催支援**
 - ※キャリアアドバイザーにマスコミ関係者が登用されたため、廃止となった。
- **キャリア教育「グローバルビジネス実践論」（ビジネス中心）**
 - ・キャリア教育の一環として、海外駐在経験者を講師としたグローバルに活躍できる人材養成を狙いとした全学部 2 年生以上を対象とする専門科目（2 単位）。
 - ・秋学期（後期）開講し、講師謝金（@15,000 円×15 名）・コーディネーター謝金（@10,000 円×15 回）及び交通費等を支援した。
- **キャリア教育「グローバル化と日本人」（異文化中心）**
 - ・異文化理解とコミュニケーション力養成を狙いとした全学部対象の教養科目。
 - ・秋学期（後期）開講し、講師謝金（@15,000 円×4 名）・交通費を支援した。

3-4 地域課題実習活動支援

- **学生による地域と連携した課題解決プロジェクト支援事業**
 - ・学生による地域と連携した課題解決プロジェクト。
 - ・令和7年度は33プロジェクトに支援費を総額上限900千円として支援した。

3-5 その他の学生活動支援事業

- **5学部との共催講演会**
 - ・5学部と校友会が共催し、学外から講師を招き講演会を実施。
 - ・講師の謝金（交通費込@100,000円）、講演録作成経費を支援した。
 - ・教育学部・・・島崎直人氏(神奈川県教職員組合、執行委員長)を招き10月2日（木）開催
「神奈川の学校現場と教員の今－多様な学びの場と教職員の姿から－」
 - ・経済学部・・・加島潤氏(慶應義塾大学経済学部 教授)を招き、11月19日（木）開催
「東アジアの経済発展と中国の社会主義体制」
 - ・経営学部・・・浅野純次氏(石橋湛山記念財団評議員、富丘経済研究会会長、東洋経済新報社元社長)を招き10月22日（水）開催
「なぜ今、石橋湛山か－不世出のジャーナリスト、政治家はいかに学び、いかに行動したか－」
 - ・理工学部・・・塩沢文朗氏(元 内閣府大臣官房審議官(科学技術政策担当)、経済産業省大臣官房審議官(産業技術担当) 現在 国際環境経済研究所 主席研究員、COGNITE K.K.エグゼクティブ・アドバイザー ほか)を招き10月1日（木）開催
「新たな風を起こし、仕組みを作る－“Rule maker”としての役割－」
 - ・都市科学部・・・以下の講演者を招き、2月7日(土)開催
「これからの都市・地域の再生を考える」
森山奈美氏(株式会社御祓川 代表取締役社長)
「御祓川がつなぐマチ・ミセ・ヒト～市民まちづくりのエコシステム～」
大沢雄城氏(オンデザイン 新潟オフィス代表)
「多拠点で都市してみる」
- **「YNU 横浜経営者の会」による模擬面接会**
 - ・12月5日（金）に、大学、校友会共催で、YNU 横浜経営者の会参加企業による集団模擬面接会を開催した。
※参加企業による無償支援のため校友会予算は執行しなかった。
- **「YNU 横浜経営者の会」連携講義**
 - ・秋学期（後期）にYNU 横浜経営者の会構成員を講師とする連携講義を開催し、講師謝金（@15,000円×15名）・コーディネーター謝金（@15,000円×15回）・交通費等を支援した。
 - ・講義テーマ：「経営者が語るこれからの企業戦略・イノベーションと若者へのメッセージ」
- **アプリコンテスト実施経費**
 - ・アプリコンテストを1月24日（土）に開催し、優勝賞金300,000円を支援した。

4 全会員対象事業

- **横国Day事業**
 - ・大学が主催する事業。校友会・同窓会は共催で11月22日（土）に開催した。
 - ・イベント開催費、交流会開催費等を支援した。
※登壇者謝金、保険の見直し等により減額となった。

- **学生幹事会支援**
・学生幹事会企画打合せ会等の活動費を支援した。

5 大学支援事業

- **YNU横浜経営者の会**
・神奈川県を中心に経営基盤を持つ企業経営者とYNU学長、校友会長等による懇談会を行った。
・11月11日（金）開催
- **横浜国立大学開学75周年記念募金への寄附**
・横浜国立大学開学75周年記念募金事業に対し1,000万円の寄附を行った。（3年目/3年計画）

6 管理費

校友会活動の運営のために必要な経費

- **事業附随費 事務局諸経費**
・デジタルサイネージ維持費、校友会業務用情報基盤費（Zoom、Adobe）、事務用品費、消耗品費、旅費交通費、通信費、振込手数料、器具備品費、各種手数料、会議費、諸会費、交際費等。
- **会員管理費 会員管理システムランニング費用**
・会員管理用システム利用料（アルムネット）、会員カード作成費等。
- **事務局人件費**
・事務局職員の人件費。

7 予備費

※執行はなかった。